

第1日 1月27日(金) 3部 14時50分～16時30分

7 児童・生徒指導部会	部会テーマ	授業における子どもへのかかわりを考える ～子どもが安心して参加できるように～
内 容	授業において子どもが主体的に考えたり、自分の考えを深めたりしていくためには、授業がどの子にとっても安心して参加できる場となっていることが大切である。当部会では、そのために必要なことを教育相談的視点から捉え直し、よりよいかかわりについて考える機会とする。	
部会担当者	澁谷 景子(総合教育センター)	

※ 時刻はおよその目安です。予定時刻通りにならない場合もありますことを御了承願います。

発表

授業における教育相談的視点

14時55分～15時15分

総合教育センター教育相談部 仁藤 裕子

子どもの主体的な学びを実現するためには、その基盤として、授業が子どもにとって安心して学べる場であることが重要である。そのために必要となる、日々の授業における教育相談的視点を意識した指導・支援について、今年度の調査研究をもとに発表する。

実践発表①

子どもたちの安心につながるかかわり

15時20分～15時50分

下野市立南河内小中学校 曾根 美幸

子どもが安心して教室で過ごすには、子ども同士がお互いを理解しあえる温かな人間関係を築くことが大切だと考える。そのために教師は子どもを理解したうえで、子ども同士の相互作用が生まれる働きかけをしていく必要がある。日々の授業を中心とした自身のかかわりを教育相談的視点から捉え直し、考察したことを発表する。

実践発表②

安心できる学びの場を目指して

15時50分～16時20分

県立鹿沼高等学校 中條 里美

生徒の主体的な学びは、安心して過ごせる環境が土台になると考える。そのために教師は、生徒が安心して自分の意見を発表したり共有したりすることができるよう、教室を互いに認め合える学びの場にしていく必要がある。年度初めの学びに向かう環境づくりや、日々の授業における実践をもとに発表する。